

皆さんおはようございます。長い夏休みが終わりました。泥臭い努力を続けることができる、そんな力を身につける経験はできましたか。この夏は、色々な出来事がありました。パリ五輪で盛り上がった人も多かったでしょう。今回のパリ五輪は、スポーツの素晴らしさとともに、SNSのあり方、ジェンダーについての対応等、様々な問題についても考えさせられる機会となりました。

そして、もう一つは南海トラフ地震です。臨時情報として巨大地震注意が発令されました。私は「南海トラフ地震に備えないといけない」と従前より意識していたつもりでも、実際に巨大地震注意が発令されても、自宅の防災グッズやハザードマップを確認したにとどまっています。

皆さんはどうでしたか。本校は、防災拠点校に指定されており、様々な防災活動に取り組んでいます。6月には、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科と学術協定も締結しました。防災減災について、最新の学びを得る機会が整っていますが、知識を深めるとともに、それが行動変容につながるにはどうすべきか、実効性のある防災教育が必要だと感じています。皆さんもいいアイデアがあれば、どんどん提案して下さい。待っています。

この夏、小田校生の皆さんも活躍しました。2年生の都竹さんは、トランポリン競技の全校高校総体で6位入賞を果たしました。日頃の努力の成果です。健闘をたたえたいと思います。その他にも、オーストラリア研修、フィリピン研修、様々なボランティア活動で多くの学びを得た皆さんがいます。その中でも、特に心に残ったのが、1年生のサイエンスリサーチ科の3人の活躍です。神戸で行われた防災教育の研修会の帰り、コンビニで倒れている高齢者の方を手際よく救助しました。救急隊員が到着した際にも、それまでの状況を的確に伝えたそうです。後日、関係者の方よりお礼の連絡があり、このことを知るところとなりました。誰だって倒れている人を助けたいと思いますが、それを行動に移し、なおかつ適切に対応するには、勇気と知識が必要です。それを実行できた小田校生を誇りに思います。

先日、早朝より、自宅の宝塚から武庫川河川敷を南に下るコースを3時間ほど歩きました。朝からジョギングをしている人を多く見かけました。皆さん、様々なTシャツを着て走っています。その中に、背中に「失敗とはこけたことではなく、立ち上がらないことだ」と書いたTシャツを着て、ゆったりと走っている人がいました。この夏休みに計画通りに、学習や部活、行事の準備に取り組めた人は、そのままどんどん進んでいって下さい。「ちょっとできなかったかも」と感じている人は、しっかりと立ち上がるアクションをおこして下さい。

最後に、7月27日(土)に開催されたオープンハイスクールでの、中学生の言葉を紹介します。実際に授業を体験し、先輩である皆さんから直接、色々な話を聞かせてもらい、その対応の優しさ

や丁寧さ、説明の的確さを肌で感じたようです。私が、「小田校はどうですか」と訪ねたところ、その中学生は一言「憧れます」とつぶやきました。皆さんは、中学生の皆さんから憧れられる存在であるということを伝えておきます。

その一環だと考えているのですが、2学期からも朝のSHRは実施せず、1時間目の授業は8:45よりスタートします。生徒の皆さんは、8:35までに登校し、タブレットやスマホで学校からの連絡事項を自分で確認した上で、自分で行動して下さい。これには皆さん生徒自身が、自分で考え、自分で行動することで、自立した人間に育って欲しいという願いがあります。皆さんが高校を卒業したその先では、SHRで担任の先生が丁寧な連絡・説明をしてくれるという世界はありません。自分で情報を得て、それに従って自分で行動することが当たり前に求められます。皆さんは今のうちにそれらに対応する力を身につけて、卒業後もすぐにそれぞれの進路先で活躍できる自立した人間になって下さい。

中学生に憧れられるに値する小田校生として、尼小田プライドを持って、この夏に培ったものを土台に、「今しかできないこと」に、「日々の生活」に全力で取り組み、充実した活動ができる2学期として下さい。終わります。